

会 告

IGS 日本支部 2018 年通常総会 議事録

1. 日 時： 平成 30 年 2 月 7 日（水）15：45～16：45
2. 場 所： 地盤工学会 地下会議室
3. 議事資料：2018 年通常総会議題書
4. 議事内容
 - （1）開会宣言
 - ・ 平井幹事長より 2018 年通常総会の開会宣言がなされた。
 - ・ 出席者は個人会員 20 名、特別会員 8 社、委任状は個人会員 136 名で総票数 196。全会員票数 281 の 2 分の 1 を上回り、通常総会は成立した。
 - （2）議長選出及び議長挨拶
 - ・ 議長には三木支部長が選出され、承認された。
 - （3）2017 年事業報告及び 2018 年事業計画【資料 1】
 - ・ 資料に基づき、平井幹事長より日本支部の現況会員数等について、各委員会より 2017 年活動報告、2018 年活動計画についてそれぞれ説明がなされた。
 - （4）2017 年収支決算・2018 年予算(案)（財務委員会）【資料 2】
 - ・ 資料に基づき、伊藤会計幹事より 2017 年度決算報告、2018 年度予算(案)について説明がなされ、承認された。
 - （5）2017 年監査報告【資料 3】
 - ・ 資料に基づき、間会計監事より 2017 年一般会計は適正かつ正確であることが報告された。
 - （6）2018 年役員の選出【資料 4】
 - ・ 資料に基づき 2018 年度役員の再任・新任について説明がなされ、承認された。
 - （7）閉会挨拶
 - ・ 平井幹事長の閉会挨拶により、2018 年通常総会は閉会した。

以上

＜ 2017 年事業報告及び 2018 年事業計画 ＞

1. 2017 年末会員数 *()内は 2016 年末会員数

正 会 員	1 9 6 名	(1 9 0 名)
学生会員	1 0 名	(1 4 名)
特別会員	1 8 社	(1 8 社)

2. 日本支部の主な活動

- 1) 事務局職員が伊集院紀子から奈良真紀子に交代し、引継ぎを行った。
- 2) IGS 理事会 :
 - 2-1) 理事選挙
2 年ごとに半数改選。桑野理事 2 期 8 年満了で退任。東大古関教授が選挙で新任理事に当選。
 - 2-2) 理事会 (勝見理事、桑野理事) : 2016 年 4 月マイアミ (アメリカ)
2016 年 9 月ヨーロッパ会議開催地問題、資産の活用、地域会議開催地(ポーランド、リオ、台湾)
 - 2-3) 理事会 (勝見理事、古関理事) : 2016 年 9 月リュブリアナ (スロベニア)
新支部設置活動(スイスなどやアフリカ諸国)、個人会員約 3000 人・コーポレート約 190 社、など
- 2) IGS 本部対応 (会員名簿の提出、会費納入など)
- 3) 2016 年 12 月 1-2 日 第 31 回ジオシンセティックスシンポジウム (福井)

3. 刊行物の発行事業

1. 国際ジオシンセティックス学会日本支部会員名簿
2. ジオシンセティックス技術情報 (3 月, 7 月, 11 月号)
3. ジオシンセティックス論文集第 31 巻

2017 年についても、2016 年と同様な国際対応を含む事務局業務を行う。

- 1) 本部対応 (会員名簿の提出、会費納入など)
- 2) IGS 理事会
2017 年 10 月マラケシュ (モロッコ) GeoAfrica (勝見理事、古関理事)

以上

ジオシンセティックス技術情報編集委員会 2017 年活動報告

(1) 2017 年編集委員会活動報告内容

- 1) 第 1 回編集委員会（日時：平成 29 年 1 月 20(金)，場所：三井化学産資 8F 会議室）
 - ・ '17 編集体制の確認・検討・決定
 - ・ '17.3 月号の進捗状況の確認と未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
 - ・ '17.7 月号の特集「最近の遮水技術」の検討
- 2) 第 2 回編集委員会（日時：平成 29 年 5 月 19 日(金)，場所：三井化学産資 8F 会議室）
 - ・ '17.7 月号特集「最近の遮水技術」の進捗状況の確認と未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
 - ・ '17.11 月号の目次案および編集工程の検討
- 3) 第 3 回編集委員会（日時：平成 28 年 7 月 28 日(金)，場所：三井化学産資 8F 会議室）
 - ・ 川島委員（クラレ）の交代。後任として片山氏（クラレ）が紹介された。
 - ・ スパンボンド協会から派遣の江崎，平泉両委員（ユニチカ）は，4 月から東洋紡に交代。
 - ・ '17.7 月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
 - ・ '17.11 月号の目次案および編集工程の検討
 - ・ 技術賞推薦候補，技術奨励賞推薦候補の技術報文について，候補となり得る報文を検討し，次回の委員会で選考することとした。
 - ・ ジオシンセティックス使用量調査のアンケート復活の可能性に関する検討
 - ・ 災害復旧のジオシンセティックス使用実績収集の実施可否に関する検討
- 4) 第 4 回編集委員会（日時：平成 28 年 9 月 29 日(金)，場所：三井化学産資 8F 会議室）
 - ・ 編集体制について，江崎，平泉
 - ・ '17.11 月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
 - ・ '18.3 月号の目次案および編集工程の検討
 - ・ 技術賞推薦候補，技術奨励賞推薦候補の技術報文について，事前の委員選定結果に基づいて選考した。

(2) 2017 年委員会設営費報告

内 訳	予算 (円)	実績 (円)	備 考
① 委員会経費 ・ 編集委員会	200,000	66,000 65,000 8,000 61,000	第 1 回編集委員会交通費 第 2 回編集委員会交通費 第 3 回編集委員会交通費 第 4 回編集委員会交通費
合 計	200,000	200,000	

ジオシンセティックス技術情報編集委員会 2018 年活動計画

(1) 2018 年活動予定内容

<全体の活動内容>

定期発刊を心掛けるとともに、「技術報文」の投稿については、編集委員による情報収集のほか、情報提供して頂ける会員をオブザーバーという形で委員会にご参加して頂くとともに、シンポジウム掲載論文や他学協会の年次講演会を範疇に入れ、JC-JGS 技術賞候補論文および JC-JGS 技術奨励賞論文の対象に成り得るような質の高い「技術報文」の掘り起こしや積極的に行う予定である。

毎年、特集号として位置付けられる 7 月号については、最近のジオシンセティックス技術の動向を探る観点から、また、新たな展開を期待する意味合いから、「**格納・運搬・遮断など多方面で使えるジオシンセティックス技術**」をテーマとして技術報文を募集する予定である。さらに、これまで同様、「修士、博士論文概要の紹介」などの掲載を引き続き行う。

なお、本年度は、過去に実施していたジオシンセティックス使用量調査アンケートを実施することになったことから、関係各方面のご協力、宜しくお願いします。

<具体的な活動内容>

1. ジオシンセティックス技術情報の発行

ジオシンセティックス技術情報は、従来通り年 3 回の発行とする。

(2018 年 3 月号, 2018 年 7 月号, 2018 年 11 月号)

2. 編集委員会

編集委員会においては、ジオシンセティックス技術情報を滞り無く発行するための定例業務として、目次案の検討や原稿執筆状況の確認などを行うとともに、編集に際しての問題点の解決を行う。また、継続的な審議事項として、編集方針や内容分類の整理、テーマ特集号の設定、新企画の検討など、読者のニーズに合うように **check and review** を積極的に行う。なお、5 月および 7 月の編集委員会では、2018 年度技術賞、技術奨励賞の受賞候補となる技術報文の推薦選考を行う予定である。

開催予定：4 回程度（1 月，5 月，7 月，9 月を予定）

3. 主査・副査担当者

主査・副査担当においては、編集委員会で決定した編集方針に基づくジオシンセティックス技術情報の実質的な編集作業として、原稿の内容確認などを行う。なお、今年度の主査・副査担当者は以下に示す通りである。また、編集作業は、基本的にはメールで作業を行う。

18 年 3 月号：主査 荻迫委員，副査：江崎委員，土橋委員

7 月号：主査 榎尾委員，副査：片山委員，（東洋紡）委員

11 月号：主査 山中委員，副査：小浪委員，木幡委員

(2) 2018 年設営費計画

委員会設営費については、例年通りの交通費として以下の予算案としたい。

内 訳	予算案 (円)	備 考
① 委員会経費 ・編集委員会	200,000	委員会交通費 (60,000×2 回+20,000×4 回)
合 計	200,000	

行事委員会 2017 年活動報告

(1) 2017 年活動報告

第32回ジオシンセティックスシンポジウムを、11月30日～12月1日に、地盤工学会館で開催した。

2月 会場、日時の決定

3月 ジオシンセティックス技術情報、Web、メールでの発表論文募集への会告掲載

4月 地盤工学会・繊維学会へのジオシンセティックスシンポジウム共催依頼、広報依頼

5月26日 投稿の事前通知 締切

7月21日 本論文の提出、投稿申し込み 締切

10月31日 本論文の修正原稿提出締切

11月30日～12月1日

第32回ジオシンセティックスシンポジウム（地盤工学会館）

参加者107名、一般発表(28編)、

特別講演(佐賀大学 柴 綿春 教授)

JC-IGS 論文賞・奨励賞・技術賞・技術奨励賞表彰式、懇親会37名

11月30日 第1回行事委員会

(2) 2017 年委員会設営費報告

内 訳	予 算	実 績	備 考
委員会設営費	100,000	9,600	行事委員会 弁当代
交通費	(50,000)	(0)	
通信費・消耗品費等	(30,000)	(9,600)	
論文集編集アルバイト代	(20,000)	(0)	

(3) シンポジウム収支報告

内 訳	予 算	実 績	備 考
第32回シンポジウム	0	-92,071	(地盤工学会館 開催)
収入	650,000 (450,000) (200,000)	(438,000) (342,000) (75,000) (3,000) (18,000)	シンポジウム参加費 懇親会参加費 論文集購入（正会員1名） 請求書払い
支出	650,000 (0) (410,000) (60,000) (30,000) (150,000)	530,071 (0) (393,951) (10,000) (1,180) (124,940)	会場費・設営費 論文集印刷費 210 部 特別講演謝礼 通信費・消耗品ほか 懇親会費

平成29年11月30日/12月1日					
	シンポ参加人数	収入額		懇親会参加人数	収入額
正会員	45	180,000	参加者	25	75,000
非会員	17	102,000			
招待	11	0	学 生	4	0
優待	10	40,000	招 待	8	0
学 生	20	20,000			
講演者	1	0			
小 計	104	342,000	小 計	37	75,000
参加収入総計					417,000
		請求書払い	正会員	0	
			非会員	3	18,000
			学 生	0	
		論文集購入	正会員	1	3,000
		小 計		4	21,000
		総合計			438,000

行事委員会 2018 年活動計画

(1) 2018 年活動予定内容

第 33 回ジオシンセティックスシンポジウムは、12 月 6 日（木）～7 日（金）、東京で開催を計画している。

- 2 月 会場、日時の決定
- 2 月 ジオシンセティックス技術情報、Web、メールでの発表論文募集への会告掲載
- 4 月 地盤工学会・繊維学会へのジオシンセティックスシンポジウム共催依頼、広報依頼
- 5 月 論文投稿の事前申込（題目と著者）、投稿要領の返送
- 7～11 月 技術情報誌、Web、メール、地盤工学会誌などにおける開催案内
- 7 月 21 日 論文の申し込み締切（本論文）
- 8 月上旬 第 1 回行事委員会
- 10 月 31 日 本論文の修正原稿提出締切
- 11 月上旬 招待状発送（支部顧問、特別会員）、修正済み原稿取りまとめ、論文集作成
- 12 月 6 日～12 月 7 日 第 33 回ジオシンセティックスシンポジウム
一般発表、特別講演、JC-IGS 論文賞・奨励賞・技術賞・技術奨励賞表彰式、
第 2 回行事委員会

(2) 2018 年設営費計画

2018 年度の予算（案）

内 訳	予 算	備 考
行事委員会設営費	100,000	
(内訳)	(50,000) (30,000) (20,000)	委員会交通費・事務局旅費ほか 通信費・消耗品費等 論文集編集アルバイト代
第 33 回シンポジウム	0	(地盤工学会館 開催)
(収入)	650,000 (450,000) (200,000)	シンポジウム参加費 懇親会参加費
(支出)	650,000 (0) (410,000) (60,000) (30,000) (150,000)	会場費・設営費 論文集印刷費 210 部 特別講演謝礼・交通費 通信費・事務局旅費ほか 懇親会費

2018 年度 行事委員会・論文集編集委員会 名簿：

委員長：平川 大貴（中央大学）	委員：小竹 望（香川高等専門学校）
委員：明永 卓也 （三菱ケミカルインフラテック株式会社）	委員：橘 伸也（神戸大学）
委員：内村 太郎（埼玉大学）	委員：辻 慎一朗（前田工繊株式会社）
委員：金子 賢治（八戸工業大学）	委員：中村 努 （苫小牧高等工業専門学校）
委員：河端 俊典（神戸大学）	委員：西形 達明 （協同組合関西地盤環境研究センター）
委員：熊谷 浩二（八戸工業大学）	委員：峯岸 邦夫（日本大学）
委員：小島 謙一 （公益財団法人鉄道総合技術研究所）	委員：安福 規之（九州大学）

以上

学生・教育委員会 2017年 活動報告

(1) 2017 年活動報告内容

1) 委員会開催内容

見学会下見

日時：2017 年 11 月 14 日（火）

内容：見学会下見（横浜駅・羽根沢地区）

2) 行事開催

入門セミナー

開催なし

見学会

2017 年 11 月 20 日（月）、相鉄・JR 直通線工事現場見学会（補強土工法 RRR）開催

参加者数：20 名

(2) 2017 年委員会設営費報告

内 訳	予 算	実 績	備 考
委員会設営費			
会議費	20,000	0	
入門セミナー経費	40,000	0	
見学会経費	40,000	66,560	マイクロバス代・手土産 他
合計	100,000	66,560	

学生・教育委員会 2018年 活動計画

(1) 2018 年活動予定内容

1) 委員会開催

入門セミナー・見学会等の企画および技術資料の提供等に関して年 2 回程度の委員会を開催予定。

2) 行事開催

ジオシンセティックス入門セミナー

現場見学会

(2) 2018 年設営費計画

内 訳	予 算
委員会設営費	
会議費	20,000
見学会経費	40,000
入門セミナー経費	40,000
合計	100,000

表彰委員会 2017 年活動報告

(1) 2017 年表彰委員会活動報告内容

・ 2017 年度 IGS 日本支部賞の選考

2017 年度 IGS 日本支部賞は下記の各賞について表彰規定により、表彰委員会にて選考した。

2017 年 11 月 30 日のシンポジウム開催時に表彰を行った。以下に表彰者を示す。

①JC-IGS 論文賞

(ジオシンセティックスに関する学術および技術の進展に顕著な貢献をした論文の著者)

乾 徹・Li Yueli・勝見 武・高井敦史・佐藤一貴

「ゼオライト添加したジオシンセティッククレイライナーの遮水性とセシウム吸着性能の評価」

②JC-IGS 論文奨励賞

(ジオシンセティックスに関する研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者)

倉上由貴・森田麻友

「耐越水性・耐浸透性を兼ね備えた薄層ドレーン強化堤防の提案」

②JC-IGS 論文奨励賞

(ジオシンセティックスに関する研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者)

川俣さくら

「透水性断熱材を用いたギャビオン補強土壁の積雪寒冷環境における性能評価」

③JC-IGS 技術賞 (ジオシンセティックスに関する技術の進展に顕著な貢献をした、個人・グループ)

有吉充・毛利栄征・工藤章光

「農業用パイプラインに適用する現場硬化管の実規模模型実験」

④JC-IGS 技術奨励賞

(ジオシンセティックスに関する技術的研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者)

粕谷悠紀

「シールド先受け工法「ジオフレックスビーム工法」」

(2) 2017 年表彰委員会設営費報告

筒、賞状代	7,104 円
紙袋代	2,400 円
盾代	63,450 円
計	72,954 円

表彰委員会 2018 年活動計画

(1) 2018 年表彰委員会活動予定内容

- ・ 2018 年度 IGS 日本支部賞の選考、報告など
- ・ IGS 賞本部賞の選考など

(2) 2018 年表彰委員会予算案

盾、賞状作成費として 150,000 円

以上

電子情報化委員会 2017 年活動報告

(1) 2017 年活動報告内容

<主な活動内容>

- ・ HP の更新、改良（ニュース、データベースなど）
- ・ 論文集の公開、技術情報誌の電子化、公開
- ・ 委員会の開催（2 回）、その他、メール審議等随時実施
- ・ その他

1. HP の更新、改良について

IGS 本部、日本支部からの行事や情報について HP を中心に発信

○URL <http://www.jcigs.org/>

2. 論文集の公開、技術情報誌の電子化

論文集：

J-Stage においてジオシンセティクス論文集を公開

- ・ 論文集 Vol.31 を新規に J-Stage への登録、公開

技術情報誌：

2008 年分まで：Journal@rchive で掲載

2009 年以降分：日本支部 HP 内での目次等を掲載。

3. その他

以下の項目に対して検討を行った。

- ・ 各委員会からの情報発信（発信内容・項目の整理、記載方法の検討）
→・終了した委員会について、先行して検討を実施中
- ・ 活動中の委員会については各委員会への内容等の確認を依頼予定
- ・ 国際化対応（必要性、発信内容の検討）
- ・ サーバーの内容を含めた将来構想の検討

(2) 2017 年委員会設営費報告

予算：100,000 円

(内訳)

- ・ HP メンテナンス作業： 50,000 円
- ・ 論文登録作業： 19,500 円
- ・ 委員会旅費： 15,880 円

<支出合計> 85,380 円

<残 金> 14,620 円

電子情報化委員会 2018 年活動計画

(1) 2018 年活動予定内容

<主な活動内容>

- ・ HP の更新、改良（ニュース、データベースなど）
- ・ 論文集の公開、技術情報誌の電子化、公開
- ・ 委員会報告の充実

1. HP の更新、改良について

IGS 本部、日本支部からの行事や情報について HP を中心に発信

○URL <http://www.jcigs.org/>

2. 論文集の公開、技術情報誌の電子化

論文集：

J-Stage においてジオシンセティクス論文集を公開

- ・ 論文集 Vol.32 の J-Stage への登録、公開作業
- ・ J-Stage 事務局との対応・調整

技術情報誌：

2009 年以降分：日本支部 HP 内でのデータベースとして掲載予定（2008 年以前も合わせて全て掲載）。

3. その他

会員サービスの充実と国内・外への情報発信を目標とする。

- ・ 各委員会コンテンツの充実（報告書の発信内容・項目の整理、記載方法の確定）
- 一般公開可能なものについてはこれまでのサーバーで運営可能なので先行的に公開を行う予定
 - ・ 一般公開不可のものは別途クラウドサーバーでの運用のため下期以降に準備予定*
- ・ 国際化対応（英文サイトの検討）

(2) 2018 年委員会設営費報告

予算：250,000 円

(内訳)

・ HP メンテナンス作業	50,000 円
・ 論文集電子化作業	30,000 円
・ 技術情報誌電子化作業等（データ整理、PDF 化）	130,000 円
・ 委員会サイトの試構築作業（終了委員会についてサイトの構築等）	20,000 円
・ その他（事務手数料他）	20,000 円
<支出合計>	250,000 円

(*) 別途、アクセス制限をかけられるサイトでのデータ管理（委員会等）用に、クラウドサーバー借りる予定（年間費用 15～20 万円、初期設定等費用 10 万円程度（未定））

ジオメンブレン技術委員会（第Ⅹステージ） 2017年活動報告

（1）ジオメンブレン技術委員会 2017 年活動報告

除染廃棄物の仮置場への一時保管がほぼ終了し、中間貯蔵施設の建設、除染廃棄物の中間貯蔵施設への移送が実施段階にきている。そこで、ジオメンブレン技術委員会第Ⅹステージでは、中間貯蔵施設のより確実かつ安全な遮水工をめざし設計・施工・維持管理における注意点、最新の適応技術を抽出し、これらの情報を集約し取り纏めた「中間貯蔵施設の遮水工提案」を発刊した。

（2）2017 年委員会設営費報告

委員会開催

2017年 委員会設営費報告（自2017年1月1日 ～至2017年12月31日）

科目	予算	決算	備考
委員交通費	¥290,000 -	¥379,170 -	委員会6回開催
通信・消耗品費等	¥100,000 -	¥7,095 -	会議費
書籍作成費※	¥360,000 -	¥325,476 -	書籍販売金額：360,000 書籍発刊費用：325,476
未執行	¥0 -	¥38,259 -	
合計	¥750,000 -	¥750,000 -	

※書籍作成費予算は予算計上時未計上

ジオメンブレン技術委員会（第Ⅺステージ） 2018年活動計画

（1）2018 年活動予定内容

ジオメンブレン技術委員会第Ⅺステージは、第Ⅹステージにて発刊した「中間貯蔵施設の遮水工提案」を廃棄物関連団体、大学、ゼネコン、コンサルタンツ等の関係者への普及のための活動を行う。

また、頻発する異常気象下における廃棄物最終処分場において想定される課題、ジオメンブレンの活用について検討し、選定した具体的なテーマについて研究活動を実施することを予定している。

委員会組織（予定）

委員長： 島岡 隆行（九州大学大学院工学研究院 環境社会部門）

副委員長： 勝見 武（京都大学大学院 地球環境学）

副委員長： 熊谷 浩二（八戸工業大学大学院 土木工学専攻）

※委員については公募を行い、随時見直しを行う。

（2）2018 年設営費計画

2018年度 委員会予算（自2018年1月1日 ～至2018年12月31日）

科目	予算	備考
委員交通費	¥300,000 -	委員会7回開催
通信・消耗品費等	¥100,000 -	郵便、通信、封筒、マニュアル印刷費等
合計	¥400,000 -	

ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅶステージ） 2017 年活動報告

（1）ジオテキスタイル技術委員会 2017 年活動報告

ジオテキスタイル技術委員会では、全体委員会を 2 回開催した。開催概要は下記の通りである。

第 2 回 ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅶステージ）

開催日：平成 29 年 10 月 11 日（水） 15:00～17:00

会場：地盤工学会会議室

議事

1. 「残余のリスク」について
2. 作業分担と今後の予定について

第 3 回 ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅶステージ）

開催日：平成 29 年 12 月 13 日（水） 15:00～17:00

会場：地盤工学会会議室

議事

1. 降雨ハザード検討結果状況
2. 補強土壁の試算状況
3. 報告書目次案

（2）2017 年委員会設営費報告（自 2017 年 1 月 1 日～至 2017 年 12 月 31 日）

科 目	予 算	決 算	備 考
委員交通費	¥260,000-	¥27,000-	委員交通費（10/11, 12/13）
通信・消耗品費	¥10,000-	¥0-	
講習会設営費		¥26380-	参加費から謝金と委員交通費を差し引いた金額
合計	¥270,000-	¥53,380-	

ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅶステージ） 2018 年活動計画

（1）2018 年活動予定内容

ジオテキスタイル技術委員会第Ⅶステージでは、補強土壁の残余のリスクを定量的に検討して報告書として取りまとめるため、委員会を 4 回開催したい。

（2）2018 年設営費計画

科 目	予 算	備 考
委員交通費	¥260,000-	委員会 4 回開催：¥65,000(1 回)×4 回=¥260,000
通信・消耗品費	¥10,000-	郵便、通信、資料コピー
合計	¥270,000-	

コーポレートメンバー委員会 2017 年活動報告

(1) 2017 年活動報告内容

- 『ジオシンセティックス技術情報』コーポレートメンバーのページを各社で掲載した。
 - ・ 3 月号 芦森工業株式会社
 - ・ 7 月号 高耐圧ポリエチレン協会、スパンボンド土木会（ユニチカ株式会社）
 - ・ 11 月号 ヒロセ補強土株式会社

(2) 2017 年委員会設営費報告

委員会設営費 ： 収入 50,000 円
 支出 0 円
 残金 50,000 円

コーポレートメンバー委員会 2018 年活動計画

(1) 2018 年活動予定内容

- 『ジオシンセティックス技術情報』コーポレートメンバーのページを各社で掲載する。
- ジオシンセティックス使用量アンケート調査への協力
- コーポレートメンバー会議の開催
- 各委員会からの連絡事項への協力と協調（試験法の改訂や JIS に伴う情報交換など）
- I G S 本部名簿のメンテナンス
- その他／会社単位での入会勧誘活動を行う。

(2) 2018 年委員会設営費計画

委員会設営費 ： 収入 50,000 円

※) 会議費等で使用予定

新技術委員会 2017 年活動報告

(1) 2017 年活動報告内容

新技術委員会では 2017 年の活動として、

①ジオシンセティックスの新技術情報の調査・研究や新技術委員会の活性化を目的とした、現場見学・工場見学の開催

②新技術関連の講演会の開催

を計画した。

① については、2017 年 11 月 16 日(木)に八王子南バイパス館第一トンネル工事、さがみ縦貫相模原地区改良(その 1) 工事等の見学会を国土交通省関東地方整備局相武国道事務所の協力のもと実施した。(参加者：新技術委員会 19 名)

② については、開催することができなかった。

新技術委員会の 2017 年活動内容を下表に示す。

	日時	場所	議事内容	備考
メール打合わせ	2017 年 9 月 22 日～		・現場見学会の場所選定・日程調整	
現場見学会	2017 年 11 月 16 日	八王子南バイパス館第一トンネル工事、さがみ縦貫相模原地区改良(その 1) 工事	・施工現場見学会(参加者 19 名)	

(2) 2017 年委員会設営費報告

2017 年の設営費報告を以下に示す。

収入	支出	残額	支出項目	備考
100,000	21,600		マイクロバス運行費	
		78,400		

新技術委員会 2018 年活動計画

(1) 2018 年活動予定内容

新技術委員会では 2018 年も 2017 年同様の活動を継続する。

①ジオシンセティックスの新技術情報の調査・研究や新技術委員会の活性化を目的とした、現場見学・工場見学の開催

②新技術関連の講演会の開催

(2) 2018 年設営費計画

2018 年の設営費計画を以下に示す。

交通費	会議費	講演会費	計	備考
30,000	20,000	50,000	100,000	

ジオシンセティックス試験法委員会 2017 年度活動報告

(1) 試験法委員会の活動概要

- ・地盤工学会基準部に設置されている室内試験規格・基準検討委員会内のジオシンセティックス WG と連携して作業を進めている。
- ・2017 年度は、「JIS L 0221 ジオシンセティックス用語」の見直し・発行を行うため、地盤工学会のジオシンセティックス WG と連携して、JIS 書式の確認・修正、JIS に上申するための委員構成の検討などの作業をメール審議にて行った。

(2) 2017 年度委員会設営費報告

2017 年度は、経費節減のため、メール審議を中心に活動したことから、委員会設営費を使用せずに活動した。

内 訳	予算 (円)	実績 (円)	備 考
① 委員会経費 ・試験法委員会	200,000	0	
合 計	200,000	0	残 200,000 円

ジオシンセティックス試験法委員会 2018 年度活動計画

(1) 活動計画

- 1) JIS L 0221 ジオシンセティックス用語の見直しについて、JIS 書式の則った改訂作業を地盤工学会／室内土質試験規格・基準委員会／WG6(ジオシンセティックス)およびジオシンセティックス用語改訂編集委員会と協力して実施する予定である。
- 2) ISO で制定されている国際規格を参照しながら、今後、我が国において必要なジオシンセティックス基準を検討するとともに、土研センター、国内メーカー及び関連協会等と意見交換しながら、基準化すべき試験法を抽出する。
- 3) 国内のジオシンセティックス試験法に対する要望を収集するために、継続的に、IGS 日本支部コーポレートメンバー委員会との意見交換会を実施する予定である。

(2) 2018 年設営費計画

委員会を 2 回開催する予定であることから、以下の予算案としたい。

内 訳	2017 年度予算案 (円)	備 考
① 委員会経費 ・試験法委員会	200,000	委員会交通費 (100,000×2 回) 熊本あるいは苫小牧ー東京(2 回程度)
合 計	200,000	

財務委員会 2017 年会計報告

(1) 2017 年会計決算 (資料 2 - 2, 2 - 3 参照)

収入 … 予算よりも 12 万円ほど多くなった。
支出 … 予算よりも 350 万円ほど少なくなった。

繰越金を除いた収入実績 … 7,272,928 円
支出実績 … 6,168,355 円
⇒ 1,104,573 円の増収となった。

なお、2017 年から 2018 年への繰越金は 21,048,779 円となった。

財務委員会 2018 年会計予算

(1) 2018 年会計予算 (資料 2 - 4, 2 - 5 参照)

収入 … 7,179,900 円
支出 … 9,504,560 円
したがって、2018 年予算は 2,324,660 円のマイナス予算とする。

2019 年への繰越金予定額は 18,724,119 円とする。

IGS日本支部 2017年会計決算

期間：2017年1月1日～2017年12月31日

< 収入の部 >

科 目	2017年 予算	2017年 実績	備 考
1. 会費等収入			
①2017年分			
個人会員	1,520,000	1,448,000	181名 × 8,000円
学生会員	14,000	13,000	13名 × 1,000円
法人会員	4,320,000	4,320,000	18社 × 240,000円
滞納分		179,000	2016年以前分（個人・学生年会費）
先払分		48,000	2018年以降分（個人・学生年会費）
②本部還付金 法人会員分	103,500	216,294	* 2016年分含む
(小計)	5,957,500	6,224,294	
2. 講習会・出版物販売収入			
シンポジウム	650,000	438,000	参加費（論文集代）・懇親会費 請求書払い含む
講習会、見学会他	10,000	0	
書籍・ビデオ等販売	3,000	18,500	論文集・技術情報
(小計)	663,000	456,500	
3. 広告等収入			
技術情報誌広告	528,000	592,000	3月号・7月号・11月号 + 2016年延滞分
(小計)	528,000	592,000	
4. 受取利息			
受取利息	800	134	
(小計)	800	134	
収入合計	7,149,300	7,272,928	
5. 繰越金			
繰越金	19,944,206	19,944,206	前期繰越金
総 合 計	27,093,506	27,217,134	

＜ 支出の部 ＞

科 目	2017年 予算	2017年 実績	備 考
1. 本部国際学会費			担当：事務局
個人会員	655,500	632,244	190名 × 30 \$ (110.92円/\$)
法人会員	2,070,000	1,996,560	18社 × 1,000 \$ (110.92円/\$)
(小計)	2,725,500	2,628,804	
2. 出版費・講習会等補助費			
シンポジウム	670,000	530,071	担当：行事委員会
技術情報(3・7・11月号)	1,150,000	894,672	担当：編集委員会
会員名簿	150,000	122,202	担当：事務局
講習会・見学会補助費	100,000	0	
(小計)	2,070,000	1,546,945	
3. 委員会経費			担当：各委員会
国際連絡委員会	1,500,000	252,903	本部理事会派遣費
編集委員会	200,000	200,000	技術情報発行費別
行事委員会	100,000	9,600	シンポジウム・論文集発行費別
学生・教育委員会	100,000	66,560	見学会, 入門セミナー含む
表彰委員会	150,000	72,954	盾・賞状作製費含む
電子情報化委員会	100,000	85,380	HPメンテナンス作業費, 論文集電子化作業
ジオメンブレン技術委員会	390,000	351,741	
ジオテキスタイル技術委員会	270,000	53,380	
コーポレートメンバー委員会	50,000	0	
技術委員会(強化防潮堤開発)	100,000	0	
新技術委員会	100,000	21,600	
ジオシンセティック試験法委員会	200,000	0	
粘り強い強化防潮堤開発委員会	50,000	0	
(小計)	3,310,000	1,114,118	
4. 事務局経費・その他			担当：事務局
総会	100,000	80,583	懇親会費, 往復はがき, 総会荷物発送費
地盤工学会 会議室使用費	350,000	305,530	会議室使用費 コピー代, 荷物発送費含む
レンタルサーバー代	50,000	24,439	HP・メールングリスト用
通信費	100,000	105,938	郵便物発送費
消耗品費	50,000	12,417	事務消耗品
傭人費	750,000	298,465	事務局傭人費
幹事会	40,000	24,000	会議費
振込手数料	20,000	19,396	年会費郵便局払込手数料, 銀行振込手数料
その他	150,000	7,720	慶弔費等, 謝金, 事務局交通費他
(小計)	1,610,000	878,488	
支出合計	9,715,500	6,168,355	
5. 繰越金			
繰越金	17,378,006	21,048,779	次期繰越金
総 合 計	27,093,506	27,217,134	

IGS日本支部 2018年会計予算

期間：2018年1月1日 ～ 2018年12月31日

＜収入の部＞

科 目	2018年 予算	備 考
1. 会費等収入		
①2018年分 個人会員	1,568,000	196名 × 8,000円
学生会員	10,000	10名 × 1,000円
法人会員	4,320,000	18社 × 240,000円
②本部還付金 法人会員分	100,800	18社 × 50 \$ (112.00円/\$)
(小計)	5,998,800	
2. 講習会・出版物販売収入		
シンポジウム	650,000	参加費(論文集代)・懇親会費
書籍・ビデオ等販売	3,000	
(小計)	653,000	
3. 広告等収入		
技術情報誌広告	528,000	3月号・7月号・11月号
(小計)	528,000	
4. 受取利息		
受取利息	100	
(小計)	100	
収入合計	7,179,900	
5. 繰越金		
繰越金	21,048,779	前期繰越金
総 合 計	28,228,679	

＜支出の部＞

科 目	2018年 予算	備 考
1. 本部国際学会費		担当：事務局
個人会員	658,560	196名 × 30\$ (112.00円/\$)
法人会員	2,016,000	18社 × 1,000\$ (112.00円/\$)
(小計)	2,674,560	
2. 出版費・講習会等補助費		
シンポジウム	650,000	担当：行事委員会
技術情報(3・7・11月号)	1,150,000	担当：編集委員会
会員名簿	150,000	担当：事務局
講習会・見学会補助費	100,000	
(小計)	2,050,000	
3. 委員会経費		担当：各委員会
国際連絡委員会	1,500,000	本部理事会派遣費
編集委員会	200,000	技術情報発行費別
行事委員会	100,000	シンポジウム・論文集発行費別
学生・教育委員会	100,000	見学会・入門セミナー含む
表彰委員会	150,000	盾・賞状作製費含む
電子情報化委員会	250,000	HPメンテナンス作業費, 論文集電子化作業費
ジオメンブレン技術委員会	400,000	
ジオテキスタイル技術委員会	270,000	
コーポレートメンバー委員会	50,000	
技術委員会	100,000	
新技術委員会	100,000	
ジオシンセティックス試験法委員会	200,000	
(小計)	3,420,000	
4. 事務局経費, その他		担当：事務局
総会	100,000	懇親会費, 往復はがき, 総会荷物発送費
地盤工学会 会議室使用費	350,000	会議室使用費 コピー代, 荷物発送費含む
レンタルサーバー代	50,000	HP・メールنگリスト用
通信費	100,000	技術情報発送費, 郵便物発送費
消耗品費	50,000	事務局消耗品
傭人費	500,000	事務局傭人費
幹事会	40,000	会議費
振込手数料	20,000	年会費郵便局払込手数料, 銀行振込手数料
その他	150,000	慶弔費等, 謝金, 事務局交通費他
(小計)	1,360,000	
支出合計	9,504,560	
5. 繰越金		
繰越金	18,724,119	次期繰越金
総 合 計	28,228,679	

監 査 報 告 書

国際ジオシンセティックス学会日本支部の2017年一般会計について、帳簿・証票・書類等を検証の結果、適正かつ正確であることをご報告申し上げます。

2018年2月7日

会計監事 江崎 孝二

署名 江崎 孝二 (印)

会計監事 間 昭徳

署名 間 昭徳 (印)

I G S 日本支部 2018年 役員名簿

2018年2月7日

支部長	三木 博史	(株式会社三木地盤環境工学研究所)
副支部長	桑野 二郎	(埼玉大学)
幹事長	*平井 貴雄	(三井化学産資株式会社)
副幹事長	*宮田 喜壽	(防衛大学校)
副幹事長	横田 善弘	(前田工織株式会社)
会計・幹事	*伊藤 雅夫	(前田工織株式会社)
幹事	内村 太郎	(埼玉大学)
幹事	*勝見 武	(京都大学)
幹事	鎌尾 彰司	(日本大学)
幹事	嘉門 雅史	(一般社団法人環境地盤工学研究所)
幹事	*菊池 喜昭	(東京理科大学)
幹事	清川 伸夫	(東京インキ株式会社)
幹事	熊谷 浩二	(八戸工業大学)
幹事	小島 謙一	(公益財団法人鉄道総合技術研究所)
幹事	古関 潤一	(東京大学)
幹事	木幡 行宏	(室蘭工業大学)
幹事	*篠田 昌弘	(防衛大学校)
幹事	*島岡 隆行	(九州大学)
幹事	龍岡 文夫	(東京理科大学)
幹事	#平川 大貴	(中央大学)
幹事	桝尾 孝之	(太陽工業株式会社)
幹事	*満尾 淳	(東急建設株式会社)
幹事	*峯岸 邦夫	(日本大学)
幹事	毛利 栄征	(茨城大学)
幹事	矢島 寿一	(明星大学)
監事	江崎 孝二	(ユニチカ株式会社)
監事	間 昭徳	(三菱ケミカルインフラテック株式会社)
事務局	奈良真紀子	(IGS 日本支部事務局)

* 再任 # 新任